



平成28年の労働災害防止に向けての取組について

増加傾向が続く労働災害防止に向けては、日頃から、従業員への指導教育を実施するとともに、従業員一人ひとりが意識をもって取組むことが大変に重要です。

その中でも、特に発生が多い「墜落・転落」災害、「転倒」災害防止に向け、より一層、取組んで頂きますよう、ご協力の程、宜しくお願いたします。

(1) 「墜落・転落」災害の防止について

A. 現状

陸運業における「墜落・転落」による労働災害は、労働災害の中で一番多く発生しており、その内の約8割がトラックに起因して発生しています。

このように、トラックからの「墜落・転落」災害防止対策は陸運業として真っ先に取組まなければならない内容といえます。

B. 具体的な災害事例

性別	年代	経験	災害発生の概要	被災程度
男	20代	1年以上 5年未満	トラックから降りる際、ステップを踏み外し墜落し足の指を骨折した。	1週間以上 2週間未満
男	40代	10年以上 20年未満	トラックの運転席から降りたところ、地面の段差で足をひねり、足を骨折した。	2週間以上 1か月未満
男	60代	20年以上 30年未満	トラックの荷台から落下しそうになり、飛び降りたところ、両足のかかとを骨折した。	2か月以上 3か月未満

C. 特に実施して頂きたい内容

- ・荷台への昇降は昇降設備を使用する。(荷台から安易に飛び降りない。)
- ・何か手に持ったの昇降は行わない。
- ・トラック(荷台)周辺の着地場所(凹凸等)を事前に確認する。
- ・後ろ向きでの作業をしない。

(2) 「転倒」災害の防止について

A. 現状

陸運業における「転倒」による労働災害は、労働災害の中で二番目に多く発生しておりますが、全業種では一番多く発生しております。

「転倒」災害は、「誰でも・どこでも・いつでも」起こり得る災害で、大きく「すべり」・「つまづき」・「踏み外し」の3種類の原因に起因するものです。

また、冬期間中での路面凍結による災害発生も懸念されますので、一人ひとりの心掛けにより、災害防止を図る必要があります。

B. 具体的な災害事例

性別	年代	経験	災害発生の概要	被災程度
男	60代	1年未満	荷主先構内をトラックに向けて移動中、凍結路面で足を滑らせ転倒し、手首を脱臼した。	1か月以上 2か月未満
男	40代	5年以上 10年未満	荷主先で建物の外部階段を降りようとしたところ、階段が凍結しており足を滑らせ転倒し、腰に打撲傷を負った。	1週間以上 2週間未満
男	50代	20年以上 30年未満	構内で車両から事務所へ戻る際、つまづいて転倒した。(右アキレス腱断裂)	2か月以上 3か月未満

C. 特に実施して頂きたい内容

- ・歩行場所に物を放置しない。
- ・転倒危険場所にステッカー等で注意喚起する。
- ・滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行する。
- ・足元が見えにくい状態で作業をしない。
- ・作業に適した靴を着用する。